

健康情報誌



BISHIN

ビ
シ
ン

TAKE FREE

ご自由にお持ち
ください

季刊

2019 Vol.127

新年号

Features | 特集 |

黒沢病院 40年のあゆみ

[理事長あいさつ]

健康長寿には「予防」に勝る術はなし



美心会マークの由来

美心会の「心」がモチーフです。

3つの楕円は、保健・医療・福祉、同時に過去・現在・未来も表しています。現状を打破して新しい未来に向かおうとする上昇志向⇒「ブレイクスルー」を表現したマークです。

病院機能評価認定
ISO9001:2008認証取得
プライバシーマーク認定取得
人間ドック・健診施設機能評価認定
働きやすい病院評価認定

美心会

検索

<http://www.bishinkai.or.jp>

健康長寿には「予防」に勝る術はなし

明けましておめでとございます。皆さまには輝く亥年の新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年は平成から元号が変わる年であり、超高齢化社会がますます進む年でもあります。当法人にとってもヘルスパーククリニック（健康公園）開院から10年目を迎える記念すべき年です。喜ぶべきことですが、今我々には、100年人生設計が必要となっており、一生涯自分らしく、充実した毎日を過ごす術が求められています。



今までは、病気を治す場所として病院がありました。私は41年前にクリニックを開設した頃から、病院やクリニックは「病気になる前、病気の予防のために利用する場所」であるべきと考えており、今日まで「医療の真の目的は健康増進」という一本道を歩んでまいりました。

健康の源は、良い生活習慣と一年に一回の人間ドックにあると考えています。言い換えれば、健康長寿にとって予防に勝る術はないということです。現在、健康長寿の妨げとなっている原因のほとんどは「生活習慣病」です。つまり、「生活習慣病」を予防し、早期発見・適切治療につなげられれば、100年長寿が全うできるということだと思います。

年頭にあたり、現在治療している病気がある方もない方も必ず一年に一度は身体チェック（健康診断、人間ドック）を受けることをお勧めします。それと同時に必要に応じて予防接種（特に65歳以上の方は肺炎球菌ワクチン）を必ず受けましょう。人間ドックや予防接種は、市町村によって公費補助もあります。お気軽に当院の受付または医療相談コーナーにてご相談ください。

健康長寿を全うする食事術

- ① 食事を楽しむ
- ② よく噛んで食べる
- ③ 腹八分目を守る、間食しない
- ④ 年齢に合った食べ方をマスターする
- ⑤ 長寿食（納豆、ワカメ、マグロ（赤身）、ゴボウ、キャベツ、肉）を食べる



我々は一日三回の食事をしながら生きています。つまり我々の身体は食べたものからできているのです。明日の身体も10年後の身体も食べたものが基本になります。「医食同源」の考えで本年も元氣にお過ごしください。私も実行しています。



医療法人社団美心会 理事長 黒澤 功

BISHIN 歳時記

10月 28日 老健くろさわ感謝祭

11月 3日 ぐんまマラソン出場
美心会グループとヴァレオプロ会員さま総勢140名が参加しました。

12月 1日 ウィンターイルミネーション開始

8日 クリスマスコンサート
出演：からす川音楽集団
会場：黒沢病院7階 美心ホール

25日 キャンドルサービス
理事長サントが入院患者さんや人間ドック宿泊ご利用者さまを訪れ、クリスマスプレゼントを届けました。

schedule スケジュール

- 主な行事予定(2月1日～)
- 2月2日(土) 豆まき
 - 3月30日(土) 健康支援教室 於：音楽センター
 - 日曜ドック
 - ・1月20日(日)
 - ・2月10日(日)
 - ・3月10日(日)
 - ヴァレオプロ
 - ・ハイキング…第1日曜
 - ・ボウリング…第2火曜
 - ・ゴルフ…第3金曜
- 各種イベントを実施中

ささやき

理事長 黒澤功の ふ・れ・あ・い・エッセイ

「正月の思い出」

旧中里村では、年とりの晩(年末31日)が一年を無事に暮らし、新しい年を元気で迎えるということとで一番大切な日だったと記憶しています。我が家は年末年始に兄弟やその子どもたちが集まり、25人位で父母と年末年始を賑やかに過ごす習いでした。

旧中里村で過ごした正月を思い返してみると、近頃の都会のおせち料理は別世界の食べ物に思えます。

我が家では、年とりの晩に野菜の煮しめと川魚の味噌焼き、煮豆、大根と人参のなます、堅い豆腐の田楽、きんぴら、ゆずと大根の和え物、豚肉とコンニャクの煮物、餡の入った餅など、色とりどりの御馳走が並びました。元旦は小豆御飯とけんちん汁、そして川魚の味噌焼きをはじめ前日からの

御馳走の余りを食べていました。子どもたちはこたつでカルタや百人一首をしたり腕相撲をしたり、寒い中、庭に出て元気に騒いでいました。

先日久しぶりに実家をたずねた折、赤い南天の実を見て50年前の正月風景を懐かしく思い出しました。今の旧中里村は小さな子どもたちの声がめっきり少なくなつて淋しい限りです。日本の原風景を残したいものです。

1980

1980年2月、国の方針でもある医薬分業を推進するため、県内で初となる院外処方せんの発行を始めました。

開院当初、「医師としての技術は先輩医師から学び、医師の心は二客一亭の心で一人ひとりの患者さんに寄り添い真剣に診ることで、患者さん一人ひとりが医師に何を望むかを知ることができる」と考えていた黒澤理事長。急患を一人も断らず、患者さんへの親身になった対応は評判となり、日に日に患者さんは増えていき、クリニック内に入りきれない人が大勢でてきてしまうほどでした。



戸板で担がれて入院した方が、リヤカーに乗って退院するのを見送る黒澤理事長

1977

黎明期

1977~
1989

高崎市中居町に開院

1977年12月19日、高崎市中居町3-20-8(現在の高齢者あんしんセンター)くろさわ・高崎東部福祉総合相談センターの建物)に病床数7床、透析病床数10床で産声を上げた黒沢医院。いまだこそ住宅地となった中居町だが、当時は中居団地が造成されたばかりで家が少ない地域でした。
勤務医時代、患者さんを断らなければならぬ辛さを嫌というほど味わった黒澤理事長。地域医療の充実をめざし、「患者さんの受け入れは断らない」。その思いから黒沢医院はスタートしたのです。

24時間フル回転の5年間

開院当初、「医師としての技術は先輩医師から学

び、医師の心は二客一亭の心で一人ひとりの患者さんに

寄り添い真剣に診ることで、患者さん一人ひとりが医

師に何を望むかを知ることができる」と考えていた黒

澤理事長。急患を一人も断らず、患者さんへの親身に

「患者さんの受け入れは断らない」
地域医療の充実を目指した青年医師の高き志から
黒沢医院は誕生した。

40th

黒沢病院 40年のあゆみ

2018

1977



黒沢医院



黒沢医院スタッフ



医院時代の黒澤理事長

大竹福寿前透析センター部長 回顧



開院当時、透析センターは患者さま2名、スタッフ4名で10台の透析機器でスタートしました。患者さま数は3ヶ月程で10名になりその後増え続けました。

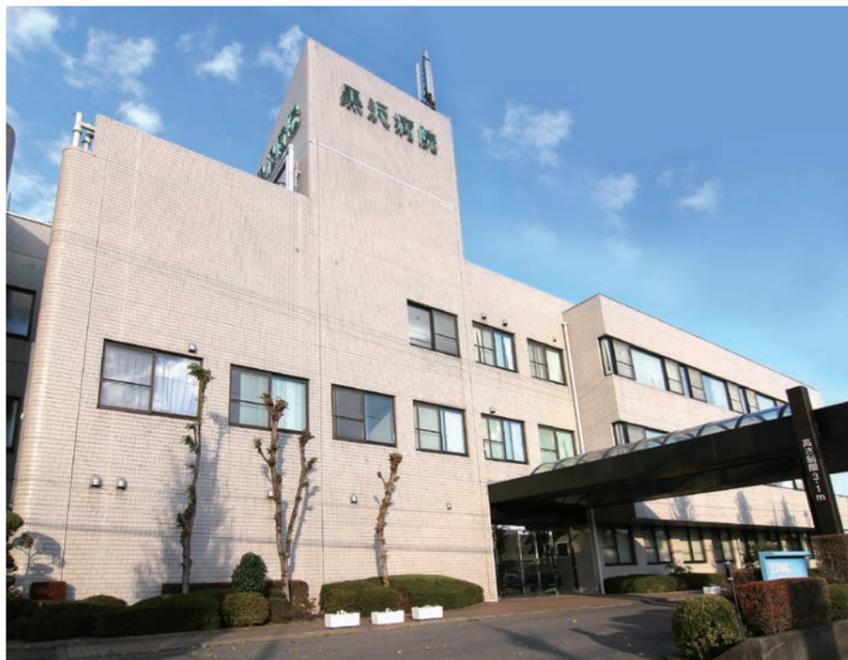
外来患者さまは19日の開院日には16名でした。黒澤先生の所、このイスじゃすぐに足りなくなりますが、当時のメーカーの人が言った通り、わずか1〜2ヶ月で80〜90名の患者さま数となり、立って順番を待っている方はいっぱいになりました。おかげさまで私も40年間勤務を続けることができましたが、美心会は「最高の総合医療サービスの提供」を40年間全くぶれることなく実践してきたことに理事長の信念を感じます。

最高のスタッフと最新の医療機器へ 黒沢病院から黒沢病院へ

黒澤理事長1人で400人を診察しなければならぬ日もあり、理事長や職員はフル回転し診療を支えていました。「医療スタッフが健康でなければ、患者さんに迷惑をかけてしまう。」黒澤理事長はさらなる地域医療の充実のため、最高のスタッフと最新の医療機器を揃え黒沢病院を病院に発展させる計画に取り組みます。

これまでの医療活動が実を結び地域からの信頼も得られ、「もっと大きくして近隣住民をしっかり受け入れてほしい」という多くの声や、黒沢病院の隣接地の地主さんから病院開設のために土地貸与の申し出もいただくことができました。

4年間の準備期間を経て、1985年6月、黒沢病院は診療を開始しました。



旧黒沢病院

加庭博文 顧問 回顧



1984年4月の入職時には既に基本設計が出来上がり、施工業者さんの選定の段階でした。県内1社を含め大手6社へ見積もり依頼をし大成建設さんに決定となりました。病院がオープン後2年ほど経過すると病室も外来もいっばいで、増築の検討が始まりました。その際、うれしいことがありました。それは下水による洪水の恐怖から抜け出せることでした。当時は下水槽からポンプアップして下水管に放流していたため、病棟などでタオルや紙おむつを誤って流してしまうと、排水ポンプが詰まり、停止してしまつたらブルが発生していました。2台のポンプを交互運転するしくみで、片方が詰まると警報ブザーが鳴り、生きているポンプを手動で動かし排水しないと下水があふれてしまうのです。ポンプを動かし下水槽の水位が低下になったところで、雨合羽を着て槽の中に入りポンプに絡んだタオルなどをはがし取ります。これはなかなかできない経験の1つでした。



旧黒沢病院受付

地域からの信頼を形に

病床数43床、透析病床数20床となった黒沢病院。泌尿器科の専門病院でしたが、急患をすべて受け入れたことが評価され、患者さんは右肩上がりで増えていきました。1987年10月には県内の病院で初めて、当時の高度先進医療である「体外衝撃波腎・尿管結石破碎装置(ESWL)」を導入しました。仕事帰りに治療を受けられることもあり、県外からも大勢の患者さんが受診されました。この頃は入院患者さんの新規受け入れが難しくなってきたことや、地域の要望に応えるため黒澤理事長は増床を決意します。



結石破碎センター(1987年当時)

1989年10月、黒沢病院は病床数86床となり新たな道を歩み始めます。地域の要望に応え、歯科を1階に、3階には予防医療の必要性から人間ドックをおこなう高崎健康管理センターを人間ドック専用フロアとして開設しました。また、女性の職場進出を援助するため、職員専用託児所「トマト」を開設しました。



高崎健康管理センター開設記念

白井徳夫さん 回顧



増床予定の土地には病院のテニスコートがあり、みんなでテニスを楽しんでいました。私も軽やかな身のこなしだったような気がします。当時、結石破碎装置はドイツのドルニエ社とフランスのエダップ社が出していましたが、最先端であったエダップ社の結石破碎装置の導入を前提に、理事長夫妻と熊坂先生、私の4名でフランスの病院で実際に治療実習をし、私たちは見学してきました。そこで一番びっくりしたことは、次に治療するため順番を待つ患者さまが治療室の前の廊下に薄いシートをかけたただで付き添いもなくベッドに横たわっていたことでした。お国柄というか、日本と随分違うんだなと思つたことが忘れられません。

1989

山室公男 総務部長 回顧



1989年7月の入職時は、旧黒沢病院(現老健くるさわ)西棟の建設の最中で、完成後86床になりました。今後益々重要になる予防医療を見据え、3階に人間ドック、健康診断をおこなう高崎健康管理センターが開設になりました。ただ待っていただけではご利用者さまは来ません。契約いただいた公立学校共済の先生方に人間ドックの案内パンフレットをDMとして発送しました。当時は「個人情報保護」に関して今ほど厳しい時代ではありませんでした。また、西毛地区の公立学校約150校をくまなく訪問し、当院人間ドックをPRしまし

た。学校では、「病院が営業活動に来るの？」という疑問も持たれましたが、ほとんどの学校で快く対応していただきました。その甲斐もあり1990年には半日ドック、宿泊ドック共に100名ずつのご予約をいただきました。専門のフロアを使用し、シティホテルのような宿泊施設、お客さまとしてお迎えするサービス、病院食とは思えない豪華な食事もあり、受診していただいた先生方の口コミで評判が広がりました。現在でも人間ドック受診者の中で、公立学校共済の先生方に一番多くご利用いただいています。

成長期

1990~
2008

医療法人社団美心会設立。

現状を打破して新しい未来に向かおうとする上昇志向は 予防・医療・介護の充実へつながっていく。

医療法人社団美心会設立。 患者満足度向上へ向けさまざまな取り組みが

1990年代には現在までつながる様々な取り組みが始まります。中居小学校への黒沢文庫の寄贈や高崎まつりへの参加。節分や七夕、クリスマスなどの季節行事。なかでも食に対するこだわりは黒沢病院の誇れる部分です。病氣のために楽しみが少なくなってしまう患者さんに喜んでいただくため、魚沼産コシヒカリの提供や選択メニューを導入しました。



お米の買い付け

新井次雄 栄養部長 回顧



私が配属された栄養科は栄養士だけの職場で、調理師としては第1号の採用でした。

「ホテルで学んだ料理をお客さまから患者さまへ！」と言った志を持ち、地産地消を基本とした、より新鮮な野菜を使うことで日々喜んでいただけた料理の提供を心掛けていました。患者さま自ら選んでいただける選択メニューの導入はその一例です。高崎健康管理センター開設後にはドックご利用者さまへの食事作りが本格的に開始され、コース料理から始まりバイキング料理、そして、現在はパスタセットを追加し6セットのメニューからの選択を可能としています。理事長から教えられた「頂点は長く続かない。常に新しい事を取り入れていくことが重要である」と言葉を肝に銘じ、これからも、ご利用者さまのために努力してまいります。

1990~

1991

予防医療の充実へ〜脳ドック開始〜

1991年、高崎健康管理センターでは全国で3番目となる早さで脳ドックを開始します。

美心祭開催

1992年5月には黒沢病院創立15周年を記念し、また地域の皆さまに感謝の気持ちをこめて、病院祭(現在の美心祭)を開催しました。「病院の敷居を低くし、検査に抵抗がなくなれば病気の早期発見、治療につながるのではないか」との黒澤理事長の思い。MRI検査の抽選に当選した方から脳腫瘍が見つかるなど、驚くべきこともありました。



第1回 病院祭

1996

1996年11月、介護事業を始めるため医療法人社団美心会を設立しました。

大森重宏 黒沢病院副院長 回顧



1992年9月から黒沢病院に勤務しています。

黒沢病院勤務前は、大学病院勤務でしたので週2〜3日は手術をしていましたが、黒沢病院で最初の3か月間脳外科の手術が1件も無く、黒澤理事長に不満を言った事を覚えています。そして黒澤理事長より、「脳神経外科の診療を立ち上げてまだ1年。石の上にも3年ということわざがあるように救急患者さま全て断らず診察していれば増えていく」と言われ、まさに患者さまの受け入れは断らない方針の下、診療していました。

その結果、患者さまはどんどん増え、1994年には年間手術例は50例となり、1995年からは、脳神経外科医2名から3名体制になりました。2014年には新病院設立に伴い脳卒中センターを開設し、脳神経外科医が365日24時間体制で脳卒中患者さまの受け入れをおこなっています。

高齢化社会に伴い脳卒中(脳梗塞)が増加しています。これからも地域医療に貢献していくこと。予防医学の重要性を広く周知して、脳ドックで脳卒中の発症を抑えられるよう啓発活動を続けていきます。

1998

業務の質を高めるために
「第三者による評価、品質システムの取得」

医療ミスの防止、医療の質を高めるために黒沢病院では1998年10月、全国で40番目の早さで日本医療機能評価機構（一般病院種別A）認定病院となりました。また2001年9月にはオーダーリングシステムの導入、12月には品質の国際規格であるISO9001を県内の病院で初めて認証取得しています。



ISO取得

2003

こうした取り組みに加え、2003年11月、第2回「癒しと安らぎの環境賞」病院部門で優秀賞を受賞します。生花をはじめ旬の食材の病院食、季節性や地域性のある行事の開催など、患者さんのために長年続けてきた努力が評価されました。主催団体の名誉会長だった故 日野原重明・聖路加国際病院名誉院長が「他の施設とは内容が全く違う」と褒めてくださいました。



癒しと安らぎの環境賞

2006

変化がなければ発展も望めない

2006年8月、北関東の医療機関で初となるプライバシーマーク認定事業者として認められました。プライバシーマークの取得は、「個人情報保護法を遵守した安心して利用できる医療機関」として認められた証です。また、2005年には院内を完全電子カルテ化し、2006年には県内病院では初となるレセプトの電子請求を開始。2007年には入院基本料7・1届出を、2008年4月には高崎安中医療圏では初となるDPC対象病院として認定されました。

発展期

2009~

2009

「現状打破」の精神で、予防医療に
取り組む

最高の総合医療サービスの提供。
地域住民の健康のパートナーとして
受け継がれてきた想いを大切に、次世代につなげていく。

病気になってから治すだけでなく、病気を防ぐためにはどうしたら良いか。まだ“予防”という概念が重要視されていなかった時代に黒澤理事長が構想したのが、ヘルスパーク（健康公園）です。病気の早期発見と予防に努め、地域の皆さまに長くイキイキと健康な生活を送っていただきたい。外来診療や県内トップ数である健診・人間ドックご利用者さま数を考えると、施設のさらなる拡充は急務でした。そうした背景も受け2009年7月、矢中町に「黒沢病院附属ヘルスパーククリニック」は完成しました。外来診療だけでなく、ドック・健診で指摘を受けた方々一人ひとりにあつた運動ができる疾病予防運動施設も兼ね備えた施設となりました。



黒沢病院附属
ヘルスパーククリニック

和田祐一 総務部課長 回顧



ISOは元々製造業に端を発した考え方です。当時は医療業界での先例も少なく、現在のように支援ツールも整備されていませんでした。用語を医療分野へ読み替えなければならず苦労しました。しかし理事長の強いリーダーシップと職員熱意により乗り越えることができました。取得後、取り組み事例を発表するため北海道から九州まで回ったことはとても良い経験になりました。

新井良和 事務部長 回顧



電子カルテ化への準備は、実質3ヶ月（レセコンは1ヶ月）程度で実施されました。一般的にはありえない短期間であり、売主のメーカー自体が驚いていました。私は、そんな移行期間中に、理事長の出張先まで連絡して「中止して延期を」と訴えたのを覚えています。当時の私は、職員を信頼せず、また、職員の力量の高さを見誤っていました。職員を信頼しその力も把握していた理事長は、当然、「GO」であり予定通り稼働もできました。トラブルが全くなかったわけではないですが、わずか1ヶ月くらいでほぼ安定稼働になりました。結局は、変化することが当たり前であり、そうしなければ発展どころか継続も出来ないということだろうと思います。

変化があり、その対応に追われるたびにこの大変さも継続するわけではない、との意識から取り組んできたのもいい思い出です。

小林大介 カーサ・デ・ヴェルデ黒沢副部長 回顧



2009年に開院した黒沢病院附属ヘルスパーククリニック。この計画は1993年から黒澤理事長が温めてきたものでした。後年、その当時の手書きの設計図を初めて見たときに「ヘルスパーク」の文字を見出しました。「強く思い続けて行動をすれば、夢は叶う」と感じた瞬間でもありました。

ヘルスパークは入院施設がないにもかかわらず、当時の黒沢病院の2.5倍強の面積となりました。人間ドックは4倍、外来も4倍以上の面積となり、本当にクリニック（診療所）なのかと見まごう施設でした。美心会として新しく取り組んだ運動施設「メディカルフィットネス&スパヴァレオプロ（ValeoPro）」は、企画の段階からどういった方向で進んだら良いのか、院内でも様々な意見がでて進むべき方向がオープン半年前まで定まらなかったことを思い出します。

そして、進むべき方向性が出たものの、今度は周りを見渡してもなかなか病院が運営している規模の大きなメディカルフィットネスはなく、本当に五里霧中というスタートだったことを覚えています。皆さまのおかげで、現在の規模まで成長できたことに感謝の気持ちでいっぱいです。携わったスタッフは皆、オープン1週間前からほぼ2・3時間睡眠、オープンしてから半月は日付が変わってから帰宅する日々でした。大変ながらも希望に燃えて取り組んだことが、本日に昨日の出来事のように思い出されます。

地域のためにできること

病気や医療について知ってもらうために手作りではじめた病院誌。1985年2月に発行された「黒沢病院だより」はその後「黒沢病院だより」、「ふれあい」、「BISHIN」と名前を変え2010年10月、NPO法人日本HIS研究センター主催によるヘルスケア情報誌コンクールBHI賞2010において最優秀賞(グランプリ)を受賞しました。



BHI賞



HISフォーラム

ヘルスパーククリニックの建設は地域に新たな風をもたらしましたが、「外来」と「入院」機能が離れてしまったことはご利用者さまにとっても予想以上の不便を生み出してしまいました。2014年7月、連携強化によるサービスの更なる充実化を図り、黒沢病院は新築移転しクリニックとの隣接一体化をします。新病院では既存機能の拡充のほか、高崎市広域初となる「脳卒中センター」の開設、また大規模災害時に対応できる免震構造、2回線受電設備、ガスコージェネレーション、自家発電設備の設置、断水時に使用可能な井水設備など新たな機能を多数備えました。



黒沢病院移転パーティ



黒沢病院



黒沢病院エントランス

吉原尊樹 総務部副部長 回顧
全国からエントリーされた100誌以上の医療情報誌の中からグランプリに選ばれました。受賞と同じ年、テレビ朝日「ワイドスクランブル」、TBS「がっちりアカデミー」などメディアでも当法人が大きく取り上げられました。美心会が全国的にも評価され、広報担当者としてのやりがいを実感するとともに、責任の重さも強く感じました。
グランプリ受賞の翌年、当法人がホストとなり、BHI賞2011が高崎市内で開催されました。東日本大震災の影響で開催が危ぶまれましたが、当日は全国から100名以上の医療広報担当者が集まり、盛大に開催することができ、多くの参加者と貴重な交流の機会を得ることができました。

黒沢病院で急性期の治療をおこなった後、回復期及び維持期のリハビリ加療が必要な方の受け入れ先が法人内に無かったため、旧病院は2015年4月、介護老人保健施設「老健くろさわ」として生まれ変わりました。リハビリテーションを提供する機能維持・改善の役割を担う施設、在宅復帰、在宅療養支援のための地域拠点となる施設として、美心会グループで地域住民を一生サポーターする体制が整いつつあります。



老健くろさわ

青木ゆかり 老健くろさわ課長 回顧



「笑顔あふれる暮らしの継続」を経営理念に掲げ、温かい施設づくりに取り組んでいます。医師、看護師、理学療法士、介護福祉士など多職種が協力し、生活リハビリ訓練のサポートをおこなっています。介護度5で入所され、訓練後介護度1で自宅へ元気に帰られた方もいます。英会話、お花セラピー、陶芸教室など毎日様々なレクリエーションをおこない、ご入所者さまを飽きさせない工夫もしています。ご利用者さまを人生の大先輩として、生きてきた道のりを尊敬し、ある時はお孫さん、ある時は娘や息子になれるようサポートしていきます。

つなげる想い。これからの世代へ

2018年9月、介護付有料老人ホーム「カーサ・デ・ヴェルデ黒沢」がオープンしました。美心会の経営理念は「良質な総合医療サービスの提供」。そして美心会のシンボルマークの意味は「ブレイクスルー＝現状打破」です。現状に満足せず、医療の質とおもてなし(ホスピタリティ)の両面で常に上を目指して取り組み、皆さまの健康増進のお役に立てるよう、私たちは今後も歩み続けます。



カーサ・デ・ヴェルデ黒沢

相吉崇 医療事務部課長 回顧



美心会は医師、看護師、コメディカル、事務職員を含め総勢700名の職員で構成されています。すべての職員が「良質な総合医療サービスの提供」をめざし、自分ができる最高のパフォーマンスを発揮するために日々努力を積み重ねて業務に取り組んでいます。私が入職した18年前の思い出です。その当時の職員も真剣に仕事に取り組んでいましたが、それだけでなく、遊びでも仕事以外のことも全力・真剣に取り組む上司や先輩方が沢山いて非常に勉強になったことを覚えています。これからの美心会は、今の20代、30代の職員が大きな原動力となって組織を盛り上げていかなければなりません。そのためには私たちの世代が模範になれるように、前向きに力強くリードしていく必要があります。輝ける美心会の未来に向かい私たちは邁進していこうと考えています。



「ベンリーくろさわ高崎中居店」は 2016年8月にオープンし、 3年目に入りました。

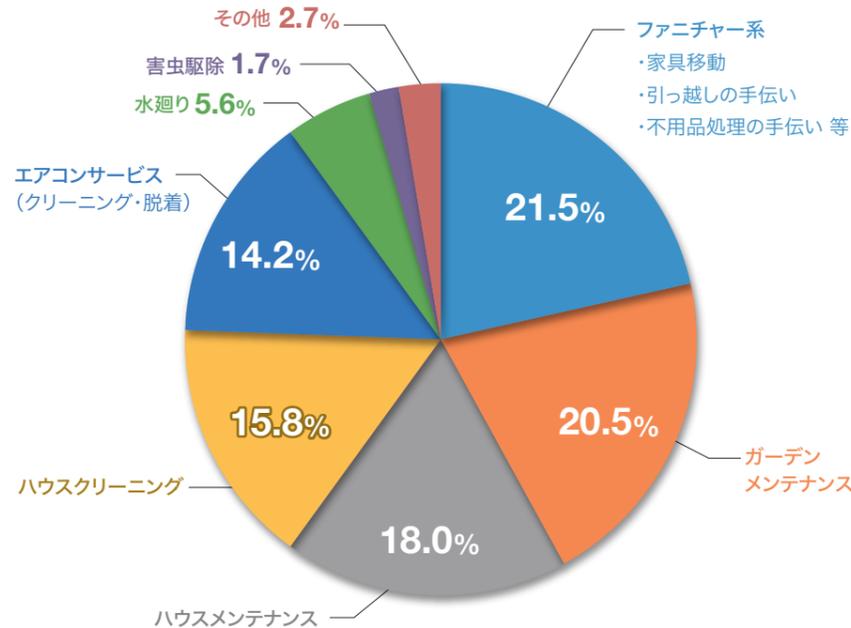
昨年12月でご利用者さまが1,300名を超え、2,000件以上の作業をさせていただきました。

美心会グループが生活支援サービスを始めたのは、「患者さまの生活をご家庭でも支えたい」「地域の皆さまの暮らしのお手伝いをする事で恩返しをしたい」という思いからです。暮らしのお困りごとには際限がなく、それらを解決するには幅広い知識と技術が必要です。そのためベンリーくろさわでは、ベンリー本社主催の53日間研修を3名のスタッフが受講しています。スタッフの経歴も様々で、幅広く皆さまのお困りごとに対応できると自負しております。



スタッフ一同「幸せな暮らしを支えたい」「笑顔溢れる生活を送っていただきたい」という思いを持ち、日々奮闘しております。今後も皆さまの「笑顔」に出会えるよう、一生懸命取り組んでまいります。

これまでの作業内容



サービス内容

- ・ハウスクリーニング
- ・家具の移動
- ・不用品処理の手伝い
- ・引っ越しの手伝い
- ・水廻りのメンテナンス
- ・エアコンのクリーニングや工事
- ・家の修繕やプチリフォーム
- ・草刈り・枝切り・害虫駆除
- ・買い物代行・家事代行 など

最近では雨樋やトタン屋根の修理、電子錠の取り付けや防犯カメラの取り付けなど、家の修繕のご依頼が増えてきています。

デイサービスセンター さとの花

観音山の自然に囲まれて、穏やかに流れるシニアライフ。
楽しい仲間と美味しい食事に出会えます。



さとの花の特徴

介護や介護予防について正しい知識を持った介護スタッフ、看護職員が常駐しております。在宅で暮らし続けることが出来るようお手伝いをさせていただきます。ご利用者さまに楽しんでいただけるよう選択制のレクリエーションをご用意してお待ちしております。



利用料

要支援1	1,692円/月
要支援2	3,469円/月
要介護1	715円/日
要介護2	834円/日
要介護3	959円/日
要介護4	1,082円/日
要介護5	1,207円/日

昼食代 (10時・15時のお茶、お茶菓子含む) 700円

■利用条件: 要介護または要支援の認定を受けた方

デイサービスの一日

- 8:30 ~ 送迎車で自宅までお迎えにあがります。
- 9:30 ~ 朝のご挨拶、ティーサービス
- 10:00 ~ 入浴 ※車イスの方もリフト付き浴槽で安心して湯船につかれます。
個別機能訓練(リハビリ)
- 12:00 ~ 昼食
- 13:00 ~ 自由時間(昼寝・読書・軽作業等)
- 14:00 ~ レクリエーションタイム
- 15:00 ~ ティーサービス
- 15:30 ~ お帰りの準備
- 16:00 ~ 送迎車で自宅まで送らせていただきます。



スタッフ募集中

シエステさとの花
高崎市乗附町208
TEL.027-321-2000

まずはお気軽に
お問合せください



「なかなか時間が取れなくて」「体調を崩してしまって」「年齢的に辛くなって」…
お困りごとがございましたら、お気軽にご相談ください

お問い合わせ

ハイ! クロサワ
0120-81-9630



TOPICS 1 第4回 老健くろさわ感謝祭

10月28日(日)入居者さま、ご家族の方を対象に第4回老健くろさわ感謝祭を開催いたしました。

職員による余興や、ご家族と一緒に食事を召し上がっていただくなど、楽しい時間を過ごしていただくことができました。



TOPICS 2 ぐんまマラソン参加報告

第28回ぐんまマラソンに
今年も総勢140名で参加しました。

各自が思い思いの目標に向かってゴールを目指し、一生懸命走りました。当日ご声援いただいた皆さま、本当にありがとうございました。今後も地域貢献・健康増進を進めるため継続して協力・参加してまいります。



TOPICS 3 天使幼稚園の園児の皆さまから 勤労感謝の日のプレゼントを いただきました。

手作りのカレンダーをいただきました。掲示板に飾らせていただきます。子どもたちの感謝の気持ちを励みに職員一同努力してまいります。



BISHIN TOPICS
ビシントピックス

最新の話題をご紹介します

NEWS 1 お仕事などで平日お忙しい方へ… 2019年 日曜ドックのご案内

1月20日	2月10日	3月10日	4月14日
5月19日	6月16日	7月21日	8月18日
9月8日	10月20日	11月10日	12月8日

※日程は変更になる場合がございます。詳しくはお問い合わせください。

お申込み **TEL.027-353-2277** (高崎健康管理センター 直通)

NEWS 2 健康支援教室開催

高崎健康管理センターでは、ご利用いただいた皆さまに益々健康で快適な毎日を送っていただけるよう、健康支援教室を開催いたします。

テーマ:「健康寿命延伸への行程」

■日 時: 3月30日(土) 13:30-16:30 於: 音楽センター
■対 象: 2018年中に人間ドックをご利用いただいた方/ヴァレオプロ会員さま

演題1 「よく眠れていますか ~いびきと無呼吸について~」
医療法人社団美心会 内科部長 松本 健

演題2 「薬の副作用について」
医療法人社団美心会 薬剤部 課長 鷲尾 和幸

演題3 「元気で100歳を楽しむには」
医療法人社団美心会 理事長 黒澤 功

※内容は変更になる場合もございます。

お問い合わせ **TEL.027-353-2277** (高崎健康管理センター直通)

BISHIN NEWS
ビシニューズ

ビシンからのお知らせ

今号をもちましてビシン「ミニギャラリー」を終了することとなりました。
これまでたくさんのご応募をいただきありがとうございました。



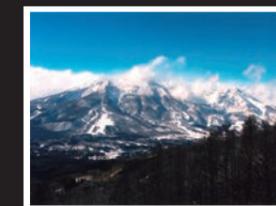
「フラワーキャッスル」(栃木県足利市)
撮影: 太田 貴 様



「寒さしのぐ」(高崎市)
撮影: 高橋恒吉 様



「黄梅の雪化粧」(高崎市)
撮影: 中山 朗 様



「妙高山と澄み渡る青空」(長野県信濃町)
撮影: 大竹真由美 様

公共交通機関時刻表

【有料】

ぐるりん時刻表 (有料:大人200円 小学生以下100円)

送迎車運行時間以外は、高崎市循環バス「ぐるりん」をご利用ください。

(ぐるりんH27.4.1改定)

高崎駅→黒沢病院方面 (群馬の森線)中居団地先回り⑩

高崎駅東口 (発)	中居小学校南 (発)	ヘルスパーク前 (着)
8:05	8:13	8:17
9:35	9:43	9:47
10:55	11:03	11:07
12:20	12:28	12:32
14:20	14:28	14:32
16:15	16:23	16:27
17:50	17:58	18:02
19:15	19:23	19:27
20:30	20:38	20:42

黒沢病院→高崎駅方面 (群馬の森線)健大先回り⑨

ヘルスパーク前 (発)	中居小学校南 (発)	高崎駅東口 (着)
7:04	7:09	7:20
8:46	8:52	9:05
10:46	10:52	11:00
12:21	12:27	12:35
13:46	13:52	14:00
15:46	15:52	16:00
16:36	16:42	16:50
18:16	18:22	18:30
19:46	19:52	20:00

※ 部分は月～金曜日の運行【土日祝日は運休】です。



ぐるりん停留所	
行き	高崎駅からのぐるりんバス乗り場は、東口・群馬の森線・10番 (中居団地先回り)です。
帰り	<ul style="list-style-type: none"> ・老健くろさわから高崎駅行き:柴田コーボ前 (バス停名:「中居小学校南」) ・ヘルスパーク、黒沢病院から高崎駅行き:矢中小学校前 (バス停名:「ヘルスパーククリニック前」)

※「ヘルスパーククリニック前」「中居小学校南」「老健くろさわ」ともに、高崎駅方面に向う場合は道路を渡った南側のバス停から乗車ください。

たまりん(玉村町乗合タクシー)時刻表 (有料:大人200円 小学生以下100円)

玉村方面からお越しの方は、玉村町乗合タクシー「たまりん」高崎直行便をご利用ください。

(たまりんH24.9.1改定)

高崎直行便 年未年始(12/29~1/3)は全便運休します。

目的地	8:40	10:20	13:55	15:50	16:45
玉村町役場					
道の駅玉村宿	8:45	10:25	14:00	15:55	16:50
高崎松風園 森の木クリニック	8:50	10:30	14:05	16:00	16:55
昭和病院	8:52	10:32	14:07	16:02	16:57
高崎高等養護学校	↓	↓	↓	16:07	17:02
アピタ高崎店前	9:00	10:40	14:15	16:10	17:05
黒沢病院附属 ヘルスパーククリニック	9:05	10:45	14:20	16:15	17:10
アピタ高崎店前	↓	10:46	14:21	16:16	17:11
昭和病院	↓	10:56	14:31	↓	↓
高崎松風園 森の木クリニック	↓	10:58	14:33	↓	↓
道の駅玉村宿	9:13	11:03	14:38	16:24	17:19
玉村町役場	9:20	11:10	14:45	16:30	17:25



たまりん停留所	
行き・帰り	ヘルスパーククリニック敷地内 西側玄関(緑の屋根の入口)付近

Editor's Postscript

編集後記

あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。今号の特集は、昨年発行の40周年記念誌にも掲載された「黒沢病院の40年」です。私の知らないエピソードが沢山あり(ほんの一部だと思います)、色々な出来事を重ねて現在の美心会があると実感しました。1日1日を大切に、日々の変化に対応しながらこれからの美心会の発展につなげていきたいと思ひます。また、平成生まれのため、年号が変わるのは初めての体験でドキドキします。(理)

✉ **ご意見・ご感想お待ちしております**
ご意見・ご感想は、下記メールアドレスへお願ひいたします!
➡ bishin@bishinkai.or.jp

美心会送迎車時刻表

(介護付有料老人ホーム「カーサ・デ・ヴェルデ黒沢」オープンに伴い、停車時刻を一部変更いたしました。)

(平成30年9月3日～)

■当送迎車は無料にてご利用いただけます。 ■日曜・祝日・年末年始(12/31~1/3)は運休です。 ■乗車の際、行先を運転手にお伝えください。

黒沢病院 → 高崎駅東口 (送迎車循環マップ参照)						高崎駅東口 → 黒沢病院					
カーサ・デ・ヴェルデ	黒沢病院	ヘルスパーク	老健くろさわ	ラ・ヴィオラ 中居	セブンイレブン	(到着) 高崎駅東口 (出発)	靴のシューマート	ラ・ヴィオラ 中居	老健くろさわ	黒沢病院	
9:00	9:02	9:06	9:12	9:16	9:21	9:26	9:30	9:36	9:41	9:45	9:50
10:00	10:02	10:06	10:12	10:16	10:21	10:26	10:30	10:36	10:41	10:45	10:50
11:00	11:02	11:06	11:12	11:16	11:21	11:26	11:30	11:36	11:41	11:45	11:50
12:00	12:02	12:06	12:12	12:16	-	12:26	12:30	12:36	12:41	12:45	12:50
13:00	13:02	13:06	13:12	13:16	13:21	13:26	13:30	13:36	13:41	13:45	13:50
14:00	14:02	14:06	14:12	14:16	14:21	14:26	14:30	14:36	14:41	14:45	14:50
15:00	15:02	15:06	15:12	15:16	15:21	15:26	15:30	15:36	15:41	15:45	15:50

※1 セブンイレブンは「高崎上中居町店」に停車いたします。 ※2 靴のシューマートは「高崎上中居店」に停車いたします。
※3「高崎駅」「乗附」コースは黒沢病院到着となっていますがヘルスパーククリニック、カーサ・デ・ヴェルデ黒沢も経由して停車できます。

中居団地先回り (送迎車循環マップ参照)										
カーサ・デ・ヴェルデ	ヘルスパーク	中居2丁目	中居団地 75-17棟前	道林児童公園	フレッセイ	美容院 スーパーレディ前	ラ・ヴィオラ 中居	老健くろさわ	カーサ・デ・ヴェルデ	ヘルスパーク
-	8:32	8:35	8:37	8:39	-	8:41	8:43	8:46	8:50	8:52
10:30	10:32	10:35	10:37	10:39	10:43	10:46	10:48	10:51	10:55	10:57
12:30	12:32	12:35	12:37	12:39	12:43	12:46	12:48	12:51	12:55	12:57
14:30	14:32	14:35	14:37	14:39	14:43	14:46	14:48	14:51	14:55	14:57
16:30	16:32	16:35	16:37	16:39	16:43	16:46	16:48	16:51	16:55	16:57

老健先回り (送迎車循環マップ参照)										
カーサ・デ・ヴェルデ	ヘルスパーク	老健くろさわ	ラ・ヴィオラ 中居	美容院 スーパーレディ前	フレッセイ	道林児童公園	中居団地 75-17棟前	中居2丁目	ヘルスパーク	
9:30	9:32	9:36	9:39	9:41	9:44	9:49	9:51	9:52	9:55	
11:30	11:32	11:36	11:39	11:41	11:44	11:49	11:51	11:52	11:55	
15:30	15:32	15:36	15:39	15:41	15:43	15:49	15:51	15:52	15:55	

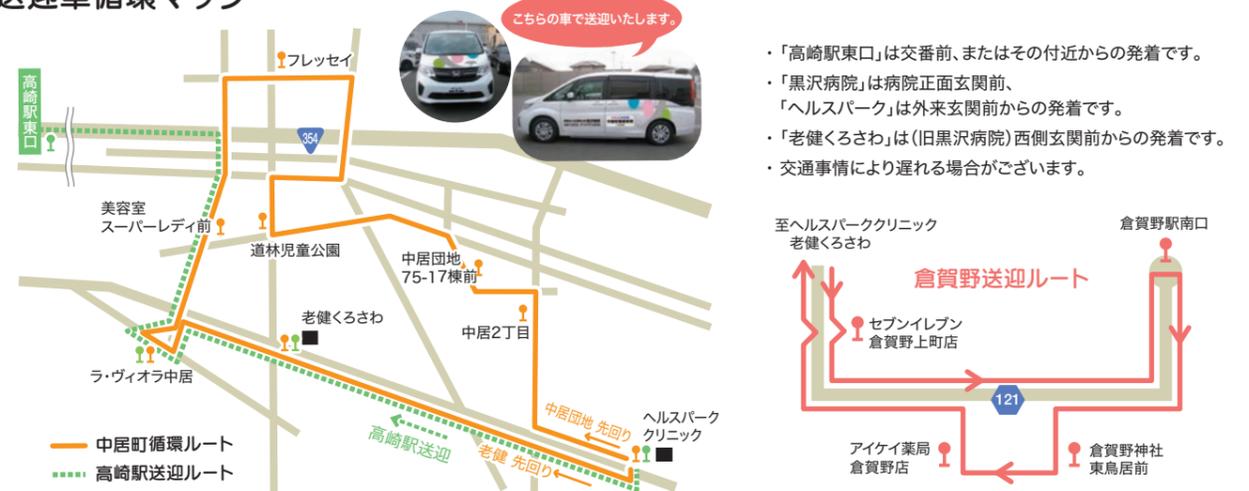
カーサ・デ・ヴェルデ	黒沢病院	ヘルスパーク	老健くろさわ	高崎駅西口	シェスタ さとの花	市役所前	高崎駅西口	老健くろさわ	黒沢病院		
10:00	10:02	10:06	10:12	乗換	10:15	-	10:35	10:45	10:48	11:00	(11:05)
14:00	14:02	14:06	14:12	乗換	14:15	14:30	14:40	14:50	14:53	15:05	(15:10)

※8 高崎駅西口は「高崎南小(さとの花行)」「アーバンホテル(病院行)」前での乗降となります(ロータリーは通りません)
※送老健くろさわ始発・終着となります。 ※病院、ヘルスパーク、カーサ・デ・ヴェルデからさとの花方面へ利用される方は一旦、駅送迎に乗りし「老健くろさわ」でお乗り換えください。

カーサ・デ・ヴェルデ	ヘルスパーク	セブンイレブン	倉賀野駅南口	倉賀野神社	アイケイ薬局	セブンイレブン	カーサ・デ・ヴェルデ	ヘルスパーク
8:50	8:52	8:58	9:04	9:08	9:10	9:14	9:20	9:22
10:55	10:57	11:03	11:09	11:13	11:15	11:19	11:25	11:27
12:55	12:57	13:03	13:09	13:13	13:15	13:19	13:25	13:27
14:55	14:57	15:03	15:09	15:13	15:15	15:19	15:25	15:27

※5 セブンイレブンは「高崎倉賀野町上町店」に停車いたします。 ※6 倉賀野神社は「東鳥居(公衆電話ボックス)前」に停車いたします。 ※7 アイケイ薬局は「倉賀野店」に停車いたします。
交通事情により遅れる場合がございます。

送迎車循環マップ



- ・「高崎駅東口」は交番前、またはその付近からの発着です。
- ・「黒沢病院」は病院正面玄関前、「ヘルスパーク」は外来玄関前からの発着です。
- ・「老健くろさわ」は(旧黒沢病院)西側玄関前からの発着です。
- ・交通事情により遅れる場合がございます。





医療法人 社団美心会 黒沢病院附属

ヘルスパーククリニック 医師外来予定表

受付時間 7:00~18:00

診療時間 9:00~13:00・15:00~18:00

Tel.027-352-1111

平成31年1月1日(火)~

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
泌尿器科	午前	黒澤・伊藤・古谷	曲 古谷	黒澤 小倉	小倉 関口	伊藤・曲・大木	伊藤 小倉/曲
	午後	小倉 【排尿機能】曲 予約制	曲 大木	伊藤 古谷	小倉	曲	古谷/関口
脳神経外科 (脳卒中)	午前	中島	中島	中島 木幡	中島 大森	中島	小倉文 大森(10:00~11:30)
	午後	大森	武山	脳神経外科医師	大森	脳神経外科医師	脳神経外科医師
外科	午前	田口(11:30まで)	【乳腺】栗原 予約制 【呼吸器】清水(11:30まで)	—	【乳腺】菊地(11:30まで)	田口(11:30まで)	—
	午後	【乳腺】栗原 予約制	【乳腺】遠藤敬 予約制	—	—	【乳腺】栗原 第1.3 予約制	【乳腺】栗原 予約制
内科	午前	【循環器】佐藤裕 矢島 松本	石井 浅香 上野 【循環器】直田(12:00まで)	佐藤裕(11:00まで) 矢島 太田 錦戸(11:30まで)	【循環器】佐藤裕 石井 松本	町田 予約制 【循環器】静(11:30まで) 太田(12:00まで)	【循環器】佐藤裕 矢島 松本 浅香(11:00~12:00)
	午後	【循環器】佐藤裕 矢島 【一般・睡眠時】町田	【循環器】佐藤裕 松本 太田	矢島 町田	矢島	矢島 上野	【循環器】佐藤裕 松本 浅香(17:00まで)
整形外科	午前	—	—	【整形・形成外科】中村 (手術の為、11時30分まで) 【整形・形成外科】牧口 第4	—	—	整形外科医師 第1 米本 第2.3.5 中島 第4
	午後	—	—	—	—	—	整形外科医師
皮膚科	午前	—	—	—	神山(10:30まで)	—	—
	午後	【美容皮膚科】遠藤 予約制	—	—	—	—	—
婦人科	午前	—	—	—	—	—	—
	午後	浅野目	—	浅野目	浅野目	浅野目	—
歯科 歯科口腔外科	午前	小林充・葭葉	河内	小林充・河内 代田 第2	小林充・栗原祐	河内 【インプラント】重原 第2.4	小林充・齋藤
	午後	小林充・葭葉	河内(16:00~18:00)	小林充 代田 第2	小林充 手術日	河内(16:00~18:00) 【インプラント】重原 第2.4	小林充・齋藤
内視鏡	午前胃	錦戸・小林 太田・蔵屋敷 内視鏡医師	小林・太田 今井・新井・坂本 内視鏡医師	小林・今井 蔵屋敷・三浦・須賀 内視鏡医師	小林・植原 山崎・岩松 太田・上野	小林・浅香 上野・綿貴 緒方・吉田	小林・今井 内視鏡医師(5名)
	午後-ESD	太田・上野	—	太田	太田・錦戸	太田	—
	午後-大腸	小林	小林・上野	太田・浅香(17:30まで)	小林	小林・太田	川手・内視鏡医師

※/はどちらかの医師です・は複数名の医師が診察担当です。 ※学会・緊急手術等で診察時間・予定が変更になる場合があります。申し訳ございませんがご了承お願い致します。
※当院では外来診療待ち時間短縮の為、予約診療を導入しております。ご利用下さい。 ※時間外・休日の救急対応については、黒沢病院で行っております。Tel.027-352-1166

専門外来	
循環器外来	佐藤裕・静・直田
糖尿病外来	石井
乳腺外来	栗原・遠藤敬・菊地
肝臓外来	矢島
消化器内科	太田
呼吸器外科	清水
無呼吸外来	町田・松本
禁煙外来	黒澤・町田・松本
整形・リウマチ科	米本
セカンドオピニオン外来	伊藤・栗原
男性更年期障害	黒澤
排尿機能障害	曲
インプラント	重原

泌尿器科	麻酔科	歯科・歯科口腔外科	婦人科
 内科			
脳神経外科		外科	

医療法人社団美心会 黒沢病院 〒370-1203 高崎市矢中町187 Tel:027-352-1166

医療法人社団美心会 黒沢病院附属 ヘルスパーククリニック 〒370-1203 高崎市矢中町188 Tel:027-352-1111

当院では個人情報保護法の施行に伴い、ご利用者様の個人情報については、利用目的を明示し、その取り扱いには万全の体制で取り組んでおります。
平成31年1月1日 発行:医療法人社団美心会 編集:情報誌編集委員会 デザイン:株式会社リノバス